

の到来が叫ばれています。子ども達が、こうした時代を生き抜くためには、基礎・基本の確実な定着を図る学習指導が重要です。

そのためには、各学校において、わかる授業を実践するとともに、自ら学ぶ力をはぐくみ、家庭との連携により、学習習慣を定着させる取り組みが必要となります。また、巡回指導教員を活用するなど、指導方法や指導体制の工夫・改善に努め、「中一ギャップ」、「高1クライシス」を解消するために、小・中・高の教員の「相互乗り入れ授業」なども実施してまいります。

学力向上の重要な要素として、言語活動の充実があげられます。言語は、知的活動の基盤であり、記録、要約、説明、論述などといった学習活動をとり入れた、思考力・判断力・表現力を高める授業づくりが求められています。さらに、人と関わる力を身に付けさせる学習活動の工夫改善に努め、子どもたち同士が相互に向き合いながら学習に取り組む「対話型授業」を実施するなど、より確かな学力を

定着させる取り組みを進めてまいります。



南富良野高等学校の出前英語授業（南富良野中学校）

外国語教育においては、小学校外国語活動と中学校・高等学校の英語教育の円滑な接続に努め、各学校種における到達目標を共有し、相互乗り入れや英語キャンプなどの授業づくりに取り組み、実践的コミュニケーション能力の向上に努めてまいります。

にふれる機会を多く設定するなど、深く物事を見つめ、考え、互いに人間として尊重し合える人格の形成に努めてまいります。

また、子ども達が正しい勤労観、職業観を身に付け、社会の激しい変化に流されることなく、社会人、職業人として自立していくためには、「キャリア教育の推進」が重要となります。

キャリア教育の推進のためには、全ての教員が児童生徒を取り巻く社会環境の変化や、学校の教育活動を通じて進められるキャリア教育のあり方などについて、共通認識を深めることが重要です。



読み聞かせ会の様子（下金山小学校）



職場体験学習の様子（南富良野高等学校）

12年間の見通した全体計画の作成、小・中・高教職員の合同研修会の開催、地域素材を生かした「職場体験学習」や「インターンシップ」など、発達課題に応じた連続性のあるキャリア教育を推進してまいります。

基本方針の三つ目は「豊かな心・健やかな体の育成」であります。

近年の子ども達は、社会性や規範意識が薄く、道徳心が低下傾向にあると言われており、学校・家庭・地域が連携し、基本的な規範意識や倫理観の醸成をはじめ、公共心や他人への思いやる心など、社会性を育てる教育が求められ

ております。

このため、児童生徒の発達段階に応じた生徒指導の指標を整備し、家庭や地域と連携して、「社会性の育成」、「早寝早起き朝ご飯運動」、「自然体験活動」、「ボランティア活動」、「薬物乱用防止教室」などに取り組み、社会に生きる力を培う生徒指導の充実を図ってまいります。



小学校集合学習で行われた「薬物乱用防止教室」

また、子ども達の健やかな体の育成を図るため、地域の環境や特性を活かした「野外体験活動」や体育科における「カヌー・カールリングの実施」、イトウの生息地であることを生かした「環境教育」など、

小・中・高の連携による地域の特性を生かした学習に取り組む、郷土に愛着と誇りを持ち、郷土の自然環境を守る人材の育成に努めてまいります。さらに、地域の発展に貢献



自然体験学習の様子（幾寅小学校）

する教育活動として、児童会・生徒会活動や学校行事における相互交流や児童生徒数の減少に対応するため、少年団活動と部活動の接続などについても検討してまいります。

### 学校施設の整備

学校施設の管理については、金山小学校の体育館屋根及び外壁改修、北落合小学校の屋上防水改修及び外壁補修を行



屋上防水補修などが予定されている北落合小学校校舎

### 小学校のあり方

い、維持管理に努めてまいります。

町内小学校5校の「これからの小学校教育の姿」について、保護者や地域の皆様との意見交換や協議を行ってまいりましたが、昨年は就学前、就学している保護者に対してアンケートを実施しており、これらを参考として、さらに地域・保護者との協議を進め、また議会の皆様とも十分に議論を進めていく中で、将来の本町小学校の適正規模・適正配置についての方向性を見出してまいります。

### 学校給食

南富良野学校給食センターは、富良野広域連合に移行して4年目となりますが、今後も、学校給食関係者の衛生意識の向上を図るとともに、衛生管理の徹底を行い、未来を担う子ども達のため、栄養バランスのとれた安全で安心な



学校給食の様子（下金山小学校）

学校給食を提供してまいります。

### 南富良野高等学校

南富良野高等学校についてありますが、本校の教育目標達成に向け、生徒一人ひとりの能力・適性及び進路希望

に応じた教育活動を実践するとともに、豊かな心の育成を目指して、様々な活動を体験させるなど地域の特色を生かした学校づくりに努めているところであります。

学習活動につきましては、進路希望に応じた類型選択科目を配置するとともに、習熟度別授業、複数教員による授業、コンピュータを活用した情報教育、英語指導助手による語学学習など生徒個々の実態に応じた多様な指導を展開してまいります。

また、昨年度から配置してあります学習支援員により、平日の放課後や長期休業中を利用した補習、部活動との両立に配慮した早朝講習や土曜日講習等を行い、基礎・基本の定着から確かな学力の向上に取り組んでおります。さらに、学習指導で特別な教育的支援が必要な生徒のため、引き続き特別支援員も配置してまいります。

本校の特色ある取り組みへの助成としましては、各種検定の検定料、ホームヘルパー2級・居宅介護従事者2級の受講料の補助や通学費の助成

を引き続き行なってまいります。

国際理解教育として進めております国際交流派遣事業は、意欲ある生徒が海外における体験交流を通して語学力の向上、国際感覚を養い精神的にも成長させるとともに、報告会を実施することにより周囲の生徒にも良い影響を与えていることから、本年度も継続して実施いたします。

大学との連携については、昨年北海道教育大学岩見沢校との高大連携協定を締結し、本年3月には、札幌国際大学とも協定を締結したところであります。大学生の教育実習や、相互の授業交流などにより、生徒の学力及び学習意欲の向上にも結びつくものと考え推進してまいります。

平成24年度の入学志願者は、22名の応募をいただいたところであります。今後、進行が予想される過疎化に伴い学齢人口の減少のほか、学校選択の多様化など本校への入学志願者の減少傾向は今後さらに厳しくなることが予想されることから、「高等学校運営協議会」や下部組織である「プロジェクト検討会議」の意見